



# 明治大学大学院経営学研究科 ダブルディグリー・プログラム

2026年2月

# 内容

1. 経営学研究科 留学プログラム概要
2. ダブルディグリー・プログラムとは？
3. ダブルディグリー・プログラム実施校
4. UTMとのダブルディグリー・プログラム概要
  - 4-1. 学位取得までの流れ
  - 4-2. UTM修了要件 概要/英語集中講義/単位要件/マスター・プロジェクト
  - 4-3. 現地留学スケジュール例
5. 経費について
6. 出願について
7. 派遣学生の留学レポート
8. 参考URL

# 1. 経営学研究科 留学プログラム概要

## 経営学研究科で実施している主な留学プログラム

### 協定校留学

協定を締結した大学院に、**1学期から1学年間、交換留学生として、留学する制度**

### 短期研究留学

協定を締結した大学院に、**1カ月～3カ月程度、研究のために滞在できる制度**

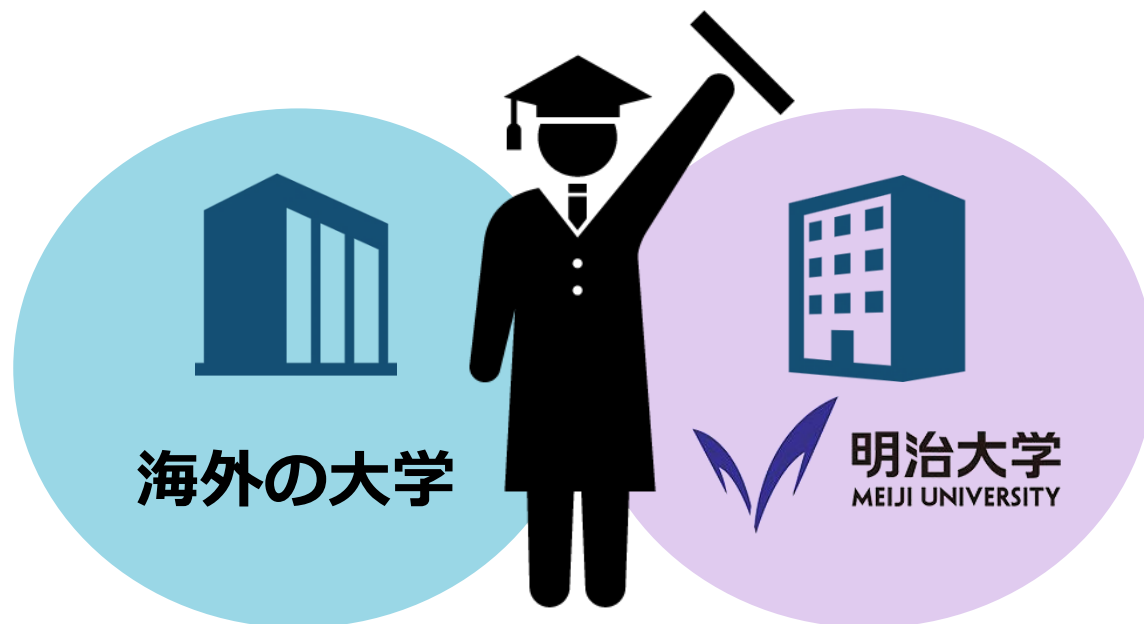
### ダブルディグリー・プログラム

経営学研究科と協定を締結したマレーシア工科大学に、**正規学生として入学、学位取得を目指す制度**

上記の他にも、イベントやシンポジウム等  
随時企画・開催しています。  
詳細は大学院事務室  
までお気軽に  
お問い合わせください。



## 2. ダブルディグリー・プログラムとは？



明治大学に通いながら、明治大学の学位取得だけでなく、海外の一流大学の学位も取得するプログラム。修士学位レベルで実施しているプログラムは明治大学では経営学研究科のみ。

2010年度以降毎年学生を派遣し、累計50名がこれまでにダブルディグリー・プログラムに参加、37名が相手校の修士学位を取得している。

### 3. ダブルディグリー・プログラム実施校



マレーシア工科大学 ファカルティ・オブ・アーティフィシャルインテリジェンス  
(Faculty of Artificial Intelligence)

※2024年Razak School of Engineering and Advanced Technologyから名称変更

### 3. ダブルディグリー・プログラム実施校

#### マレーシア工科大学（通称UTM）の特長

1904年に創立  
マレーシアでは  
最も古い  
理工系国立大学

工学・科学・  
テクノロジー分野で  
マレーシア  
トップクラス

産業・団体との  
強い繋がりを持ち  
画期的な研究に  
従事

メインキャンパスは  
首都クアラルン  
プール

ほとんどの学生が  
社会人として  
働きながら  
プログラムに参加

明治大学の学生も  
我が子のように  
大切にしてくれる  
教職員

## 4. UTMとのダブルディグリー・プログラム概要

### 英語能力

条件なし。ただし、**明治大学内志願時(4月～5月)及びUTM出願時(10月～11月)に英語スコアの提出は必須。**

TOEFL 550/IELTS 6.0/TOEFL(iBT) 79未満の場合、2週間の英語集中講義（IEC）の受講義務あり。

### 費用

学費は協定により、**UTM在籍開始から3年間は免除。**

別途、英語集中講義の受講料、健康診断料（学籍登録要件）等、個人で負担する費用あり。※詳しくは15ページ参照。

### 留学期間

約1ヵ月。例年2月～3月に実施。UTM側と調整の上、具体的な派遣時期を決定。また、留学期間を延長して、現地に長期滞在することも可能。

# 4-1. 学位取得までの流れ



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募（締切4月末）</li> <li>面接（5月上旬）</li> <li>英語試験スコア取得（助成申請可）</li> </ul>						UTM集中講義@明治 & オンライン 土日集中 2～3科目実施予定					
							UTMに各自 WEB出願			<ul style="list-style-type: none"> <li>渡航準備（Visa準備など）</li> </ul>		
										<ul style="list-style-type: none"> <li><b>UTM入学</b></li> <li>集中講義受講</li> <li>指導教員決定</li> <li>フィールドトリップ等</li> </ul>		
2年目							<b>【UTM】MP1＊開始(10月)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全5章の内、1-3章までを作成</li> <li>口頭試問</li> </ul>					
							<b>【明治】修論予備登録（10月上旬）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>修論提出（1月上旬）</li> <li>修論口頭試問（1月下旬～2月上旬）</li> <li>明治大学修了（3月下旬）</li> </ul>			<b>学位取得</b>		
							UTM集中講義@明治 & オンライン 土日集中 2～3科目実施予定					
										<b>【UTM】MP2開始（3月）</b>		
3年目							<b>【UTM】MP2＊（4～5章までを作成）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>口頭試問</li> <li>論文提出</li> <li>UTM修了（修了式11月）</li> </ul>					
							<b>学位取得</b>					

\* MP=Master Project（マスター・プロジェクト）詳細は13ページ参照。

## 4-2. UTM修了要件 概要

1

UTMで修得する必要がある科目で46単位を修得し、かつ履修した全ての科目の成績がB以上、もしくはGPAが3.0以上であること

2

プロジェクト・レポート（修士論文）の提出およびプレゼンテーションの実施を経て、マスター・プロジェクトを合格すること



**英語集中講義(IEC)の受講**

※免除要件あり。詳細は9ページ参照。

## 4-2. UTM修了要件 英語集中講義 (IEC)

英語が母語もしくは教育機関で使用する言語ではない学生は、原則**全員英語集中講義(IEC)の受講義務**がある

### 【免除要件】

以下の条件を満たせばIECの受講は免除される

- ・ 以下に挙げるいずれかの英語能力試験の直近2年以内のスコアが指定の点数を超えていること

**TOEFL 550 / IELTS 6.0 / TOEFL(iBT)79**

- ・ 入学手続き締切日までにスコアシートをUTMに提出できること

**助成金申請可能な項目** ※上限あり

語学検定試験の受験料 (受験料全額) : **外国語能力検定試験受験料助成**

受験料は全額助成されるため、  
出発前に頑張って語学勉強し、  
IEC免除を目指しましょう！



## 4-2. UTM修了要件 ①単位要件

### UTMで修得する必要がある科目

#### Core Courses ※全て必修 (各3単位)

Quality Management and Techniques

Financial Analysis for Decision Making

Operations Competitive Strategy Management

Marketing Management

Project Management

Strategic Management

Research Methodology

#### University Courses

下記から1科目を選択 (3単位)

Seminar on Global Development,  
Economic and Social Issues

Organization Behavior and  
Development

#### Master Project (必修)

Master Project 1  
(MP1) (4単位)

Master Project 2  
(MP2) (6単位)

#### Elective Courses

(各3単位)

Supply Chain Management (必修)

Technology Management (必修)

更に2科目選択

## 4-2. UTM修了要件 ①単位要件

UTM科目の主な履修方法は以下の3パターン



明治大学で修得した  
単位を振替する



明治大学で開講される  
UTM科目の集中講義を  
受講する



渡航時にUTM現地で  
開講される講義を  
受講する

※本プログラムへの参加を希望する学生は、別紙の履修科目対応表を参考に履修計画を立てることをお勧めいたします。

※UTMに単位を振替をする際、各科目の単位数は**3単位**となります。

※明治大学で修得した単位の振替方法等、詳細については本プログラムへの参加が正式に決定し次第ご案内いたします。

## 4-2. UTM修了要件 ①単位要件

### 2026年度開講 UTM教員による集中講義科目

科目名	科目群	担当教員	日程
Research Methodology	Core Courses (必修)	Fatimah Salim 先生	【オンライン】4/27(土)、28(日) 【対面】5/18(土)、19(日)
Project Management	Core Courses (必修)	Mohamad Syazli Fathi 先生	【対面】11/19(土)、20(日) 【オンライン】11/2(土)、3(日)
Quality Management & techniques	Core Courses (必修)	Khairur Rijal Jamaluddin先生	【オンライン】12/14(土)、15(日) 【対面】12/21(土)、22(日)

2026年度については調整中

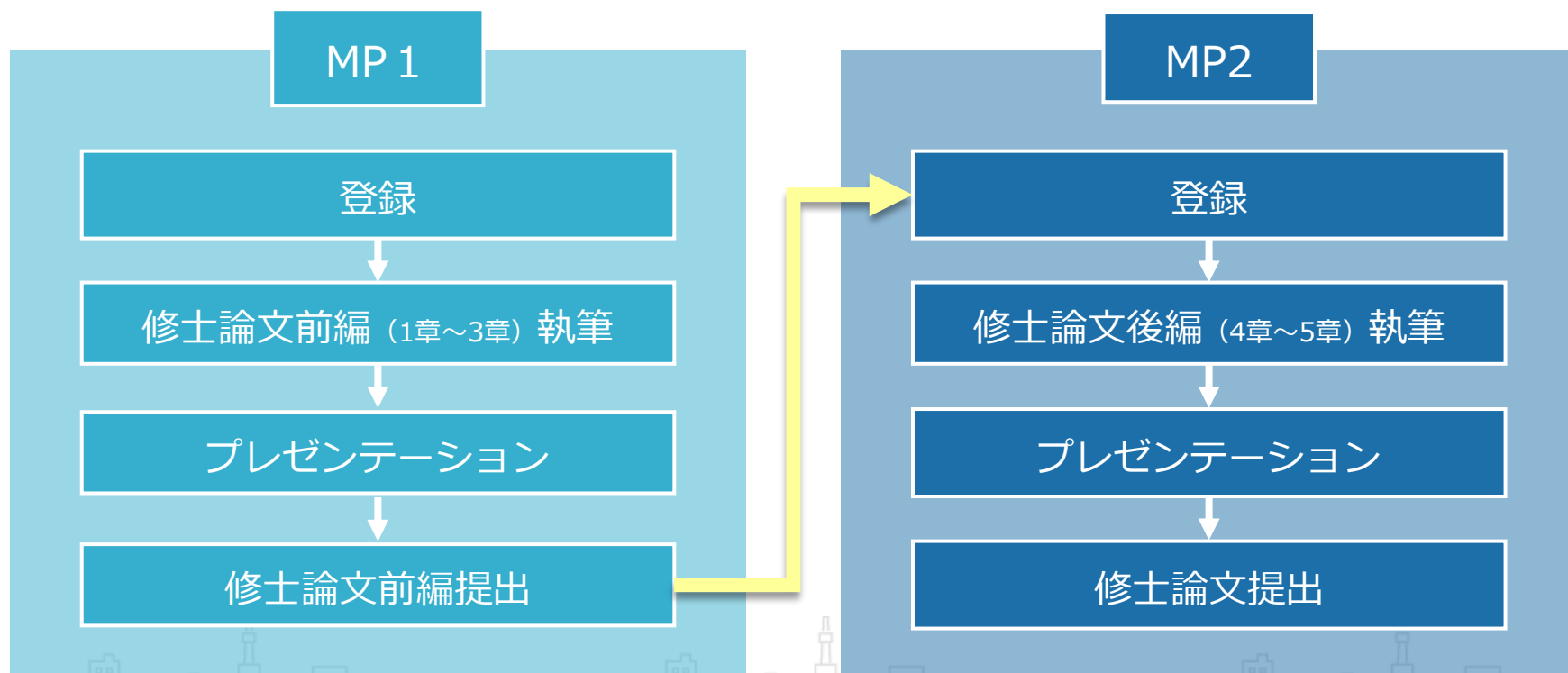
※ 授業は全て英語で行われます。

※ 4月の履修登録期間および9月の履修修正期間のどちらでも登録が可能です。

## 4-2. UTM修了要件 ②マスター・プロジェクト

### マスター・プロジェクト（通称：MP）

学位請求論文に当たるプロジェクト・レポートを書き上げる演習のこと。  
UTM入学の次のセメスターからMPを開始することができ、約1年間かけてMP1とMP2に取り組む（入学時から3年間に限り実施可能）。**Research Methodology**の単位を取得してからでないと、MPに登録することができない。



## 4-2. UTM修了要件 まとめ

	明治	UTM
取得できる学位	修士（経営学）	修士（経営管理工学）
修業年数	2年	2～3年
必要単位数	36単位	46単位
修了要件	<ul style="list-style-type: none"><li>・指導教員による演習と講義の受講</li><li>・修士論文の提出</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マスタートプロジェクトの合格</li><li>・プロジェクト・レポート（修士論文）の提出</li></ul>
その他	—	IEC（英語集中講義）の受講義務あり*

## 4-3. 現地留学スケジュール例

時期	曜日	内容
2月中旬	日	マレーシアへ渡航
	月～金	英語集中講義（IEC）
	土日	自由行動
	月～木	英語集中講義（IEC）
	金	自由行動
3月初旬	土～月	UTM入学手続き、健康診断
	火	自由行動
	水～金	UTM指導教員との面談
	土～火	UTM授業聴講など
3月中旬	水	日本へ帰国

IEC免除者は  
ここから参加

※IEC開講時期や入学手続き時期等は、年度によって異なります。

# 5. 経費について

## 個人で負担する費用

1. 英語集中講義（IEC）授業料  
（2025年度3,000RM=約117,000円）
2. 滞在期間中の食事代
3. 現地で義務づけられている健康診断料  
（2025年度250RM=約9,750円）
4. 海外旅行傷害保険
5. 大学助成以外の交通費
6. その他、雑費



## UTM学費

協定により学籍発生後3年間は無料

※4年目については有料

## 明治大学で助成できる費用（予定）



- ・ 現地宿泊費 または
- ・ 成田-クアラルンプール往復渡航費

## 助成金申請可能な項目 ※上限あり

語学検定試験の受験料（受験料全額）

→ 外国語能力検定試験受験料助成

※ 当該年度に実施の試験料について1回のみ可能

※ 助成制度の申請方法については、本学ホームページでも詳細をご確認いただけます

## 6. 出願について

1

大学院事務室 経営学研究科 宛 ([grad@mics.meiji.ac.jp](mailto:grad@mics.meiji.ac.jp)) に、  
プログラム参加希望の旨メールを送付する

2

ホームページより募集要項および必要書類をダウンロードし、  
**4月27日(月)15時まで**に出願書類のデータをメールで担当者に提出する

3

**指定された期日までに**出願書類の原本を担当者に提出する  
(修正箇所等がある場合は、担当者より連絡あり)

4

経営学研究科所属教員との選考面接 (5月8日(金)予定) を受ける  
※面接結果は約1週間前後で通知

5

選考通過者は、別途UTMの特設サイトから出願する (10月~11月)

## 7. 派遣学生の留学レポート（1）

「**短い滞在でしたが、とても内容の豊富なものでした。研究計画書を改善し、UTMでの論文の書き方や研究方法の基準を学びつつ、マレー文化を学ぶことができました。**

研究方法論の集中講義では、論文の核となる問題文に取り組みました。**クラスメートや指導教官と研究の議論をしながら、修士論文の研究を進めることができました。**

学業以外では、**マレー文化についても理解を深めることができました。**滞在中、クアラルンプールを自由に見学する時間があり、またUTM大学側にクアラルンプールとプトラジャヤを周遊する旅を企画してもらいました。さらに、私はラマダン期間中にマレーシアに滞在していたため、イフタールに招待してもらい、**地元の学生や他の留学生、そして先生方と交流をしつつ、イスラム教やマレー文化について学びました。**

マレーシアでの滞在は素晴らしかったです。**私の研究の側面で生産的なものであり、学問的な成長にも貢献しました。それに加えて、現地の人との交流を通してマレーの文化や料理を堪能することができました。」**  
(2023年度 派遣学生)

## 7. 派遣学生の留学レポート（2）

1か月の滞在中、前半が**IEC英語集中講義**、後半が入学手続きや授業参加でした。

IEC1週目はe-mailやレポート作成を実践的に学習。

IEC2週目は観客を惹きつけるプレゼン方法を習得。

**カリキュラムは工夫されていて楽しく英語力が向上しました。**

後半は大学院入学手続きや健康診断、指導教授との面談、市内観光を経験。**研究方法を体系的に学び、Research Proposal発表にも挑戦**しました。英語での説明は難しかったですが、**先生方の丁寧な指導で整理できました。**

**ラマダン期間中の学生イベント“Global IFTar”にも参加し、多国籍の留学生と交流。** 中国、スーダン、アフガニスタン、インドネシアなど多様な仲間と親しくなれました。

滞在を通じて異文化理解の大切さと英語力向上の必要性を強く感じました。

**クアラ Lumpur は活力にあふれ、日本にはない刺激を得られます。**  
UTMの先生方はとても親切で、安心して学びに集中できました。

（2023年度 派遣学生）

## 8. 参考URL

- ◆ 明治大学大学院経営学研究科 海外留学プログラム

[https://www.meiji.ac.jp/dai\\_in/business\\_administration/6t5h7p0000me304.html](https://www.meiji.ac.jp/dai_in/business_administration/6t5h7p0000me304.html)

- ◆ マレーシア工科大学(UTM) ホームページ

<https://www.utm.my/>

- ◆ ファカルティ・オブ・アーティフィシャルインテリジェンス (Faculty of Artificial Intelligence) ホームページ

<https://fai.utm.my/faculty/>

- ◆ 修士（経営管理工学）について

[https://fai.utm.my/master-of-science-engineering-business-management/#uagb-tabs\\_tab8](https://fai.utm.my/master-of-science-engineering-business-management/#uagb-tabs_tab8)

本プログラムに関するお問い合わせ先

明治大学大学院事務室


経営学研究科担当

[grad@mics.meiji.ac.jp](mailto:grad@mics.meiji.ac.jp)



ご不明な点等がありましたら、  
お気軽にご連絡ください！





**ご応募お待ちしております！**